



日仏ヘンプ 国際交流シンポジウム

フランスと北海道の産業用大麻(ヘンプ)ビジネスを学ぶ

2017年

東京会場

開場: 13:00

7月24日 月 13:30-16:40

東京 JR四ツ谷駅徒歩2分 主婦会館エフプラザ【地下2階クラルテ】

シンポジウム 無料(定員100名 完全予約制)

「ヨーロッパのヘンプ産業の発展について」

講師: フィブリエ・クリストフ
(FNPC: フランス・ヘンプ生産者連盟ゼネラルマネージャー)

通訳付き



「北海道のヘンプ産業の構想と課題」

講師: 菊地治己
(一般社団法人北海道産業用大麻協会代表理事、農学博士)



縄文時代から続く日本の大麻文化

高安淳一(大麻繊維研究者、大麻博物館館長)

スーパーフードで注目! ヘンプシードの利用法

那奈なつみ(主婦の友社ヘンプシードダイエット著者)

産業用ヘンプを巡る法律問題

パトリック・コリンズ(麻布大学生命・環境科学部教授)



懇親会 1万円(定員70名 完全予約制)

17:00~19:00 主婦会館エフプラザ(8階スイセン) 懇親会だけの参加可

ご予約
お問い合わせ

予約サイト「こくちーズ」右記のQRコードから
アクセスして申し込み頂けます。

予約サイトはこちら <http://kokucheese.com/event/index/472180/>

参加予約7月22日まで 事前予約なしの参加は受付けていません。



主催: 一般社団法人北海道産業用大麻協会 <http://hokkaido-hemp.net/index.html>

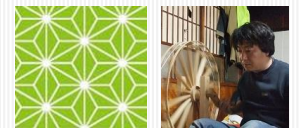
後援: 在日フランス大使館、北海道庁、北海道議会産業用大麻推進研究会、日本麻振興会



フェヴリエ・クリストフ Christophe FEVRIER
 FNPC((Fédération Nationale des Producteurs de Chanvre : フランス・ヘンプ生産者連盟)のゼネラルマネージャー。FNPCは、1950年代からヘンプの新品種育成に努め、ヨーロッパの70%以上のシェアを持つ種子会社。1980年代にマリファナ成分THCが0.3%未満の産業用大麻品種の開発、2006年にはTHCゼロ%のサンティカ種を開発し、海外に輸出しています。

シンポジウム & 懇親会 プログラム

- 13:00 開場
- 13:30 講演開始・来賓挨拶
- 13:45 北海道のヘンプ産業の構想と課題
 菊地治己(一般社団法人北海道産業用大麻協会代表理事、農学博士)
- 14:15 ヨーロッパのヘンプ産業の発展について
 フェヴリエ・クリストフ(フランス・FNPCゼネラルマネージャー)
- 15:15 休憩
- 15:30 縄文時代から続く日本の大麻文化
 高安淳一(大麻繊維研究家、大麻博物館館長)
- スーパーフードで注目！ヘンプシードの利用法
 那奈なつみ(主婦の友社ヘンプシードダイエット著者)
- 産業用ヘンプを巡る法律問題
 パトリック・コリンズ(麻布大学生命・環境科学部教授)
- 16:15 質疑応答 & 討議
- 16:40 講演終了 懇親会参加者は、8Fへ移動
- 17:00 懇親会スタート
- 19:00 懇親会終了



会場アクセス JR四ツ谷駅麹町口 徒歩2分

<主催団体概要>

北海道における産業用大麻(ヘンプ)の有用性を広く道民に訴え理解を広め、ヘンプの栽培と新たな大麻関連産業を創出することを目的とした団体です。2013年8月に設立され、北海道におけるヘンプの普及とヘンプ産業の振興に理解のある個人、企業・団体を中心に現在の会員は70名です。ヘンプに関する普及啓発、試験栽培、研究開発、海外視察などを実施しており、日本で唯一のEIHA(ヨーロッパ産業用大麻協会)準会員です。

